福祉サービス第三者評価

〔令和２年度〕

評価結果報告書

株式会社MIRATZ

MIRATZ東和保育園

評価機関　　有限会社エテルノ

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連　カテゴリー１　リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、 特に重要なもの（上位５つ程度）を簡潔に記述 （関連　カテゴリー１　リーダーシップと意思決定）
	（理念） ・未来の希望に向かって発展・向上する明るい元気な子どもを育む ・心豊かなエコ環境と優しい地域社会に生き生きと共生する子どもを育む ・みんなを親しみ愛し、太陽のように温かい心を持った子どもを育む （方針） ・安全な環境の中で一人ひとりの育ちに寄り添い豊かな愛情を持って応答的に接する ・様々な経験を通して豊かな感性を育む・家庭との連携を大切にし、お子さまの成長を共に見守る
2	期待する職員像（関連　カテゴリー５　職員と組織の能力向上）
	（１）職員に求めている人材像や役割
	あいさつ、ホウレンソウ等、社会人として当り前のことを普通にできる人。日々の保育でも、子どもの鼻水を拭く、シャツをしまう、ズボンの裾を短くする、オムツを定期的に替える、玩具をマメに片付ける、といった当り前のことを普通にやり続けられる人。勤勉な人。向上心のある人。チームワークを大切にする人。
	（２）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	子どものことを第一に考える判断力や思考力。子どもの発達を理解し、子どもの心を受け入れる包容力。

令和２年度
事業所名：株式会社ＭＩＲＡＴＺ　ＭＩＲＡＴＺ東和保育園》

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	保育園に通っている園児5世帯7人に対して調査を行った。同一保育園に2名以上の園児を預けている場合には、年齢の一番低い園児に対して回答して頂いた。
調査方法	保護者に、封入したアンケート用紙を回収ボックスに投函願い、回収ボックスごと回収したうえで集計した。傾向を掴むために、各問い別のグラフを用い分析し、保護者の属性でもある勤務形態（常勤勤務とそれ以外）の比率を把握することで自由意見などのバラツキも確認できた。

利用者総数	7
利用者家族総数（世帯）	5
共通評価項目による調査対象者数	5
共通評価項目による調査の有効回答者数	5
利用者総数に対する回答者割合（%）	100.0

利用者調査全体のコメント

総合的な感想として園に対する満足度は、「大変満足」40.0%、「満足」60.0%の計100.0%であった。

自由意見では、「少人数制なので、先生方が子ども全員一人一人を覚えてくださっているところが良いと思います」「お迎えの際、毎日の出来事や成長を直接伝えて下さるのが良いです」「連絡ノートもとても丁寧に書いてくださっています」など、子どもや保護者への配慮など職員の対応、日常の保育などに対する感謝の声が寄せられている。向上または検討を望む意見としては、保護者とのコミュニケーションに関することや保育内容、職員の子どもや保護者への対応、設備に関することなど、回答者個々の考え方や気になる点が寄せられている。設問別では、「心身の発達」「興味や関心」「食事」「自然や社会との関わり」「保育時間の変更」「安全対策」「信頼関係」「整理整頓」「接遇」「病気やけが」「トラブル対応」「気持ちの尊重」「プライバシーの保護」「保育内容の説明」「不満や要望の対応」などの17問中15問が80%以上の支持を得ており、50%を下回ったのは「行事日程」の1問である。それ以外の設問は50%台前半～70%台後半の支持を得ている。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	5	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「園に通わせるようになってから、成長がすごく感じられます」という声が寄せられていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	5	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「色々な体験をさせてもらっているなと感じます」という声が寄せられていた。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	5	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「おやつの例は見た事がありませんが、おやつがある事がありがたいです」という声が寄せられていた。				
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	5	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「家で見ていたときよりも、自然と触れ合えていると感じます」という声が寄せられていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	4	1	0	0
「はい」の回答は80.0%、「どちらともいえない」の回答は20.0%であった。 自由意見では、「きょうだいを病院に連れて行きたいとき、時間外でもみてくださり、助かりました」という声が寄せられていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	4	1	0	0
「はい」の回答は80.0%、「どちらともいえない」の回答は20.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	2	2	0	1
「はい」の回答は40.0%、「どちらともいえない」の回答は40.0%、「無回答・非該当」の回答は20.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	4	0	1	0
「はい」の回答は80.0%、「いいえ」の回答は20.0%であった。 自由意見では、「面談をしていただき、お話しする事ができました」という声が寄せられていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	5	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	4	1	0	0
「はい」の回答は80.0%、「どちらともいえない」の回答は20.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	4	1	0	0
「はい」の回答は80.0%、「どちらともいえない」の回答は20.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	4	1	0	0
「はい」の回答は80.0%、「どちらともいえない」の回答は20.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	5	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	5	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	5	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、「連絡帳でやりとりできていて分かりやすいです」という声が寄せられていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	5	0	0	0
「はい」の回答は100.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	3	1	1	0
「はい」の回答は60.0%、「どちらともいえない」の回答は20.0%、「いいえ」の回答は20.0%であった。 自由意見では、特に参考になるような意見は寄せられていなかった。				

令和２年度
《事業所名：株式会社ＭＩＲＡＴＺ　ＭＩＲＡＴＺ東和保育園》

〔組織マネジメント：小規模保育事業〕

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー１～５、７）

No	共通評価項目
1	カテゴリー１
	リーダーシップと意思決定
	サブカテゴリー１（１－１）
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている　サブカテゴリー毎の　7/7 標準項目実施状況

評価項目１
事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している　評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	〇非該当
◉あり 〇なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	〇非該当

評価項目２
経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事務所をリードしている　評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	〇非該当
◉あり 〇なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	〇非該当

評価項目３
重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて
意思決定し、その内容を関係者に周知している　評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	〇非該当
◉あり 〇なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	〇非該当
◉あり 〇なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	〇非該当

カテゴリー１の講評

①　園の理念や方針は保護者に向けて分かりやすく周知されている
事業所が目指していることの実現に向けて、入園前面談時に入園のしおりを配布しており、園の保育理念を示している。また、重要事項説明でも、事業の目的や運営方針の説明が行われており、東京都の福祉サービス第三者評価の実施について、開設後3年連続、その後3年に1回の受審を明記している。

②経営層の役割や責任などは「内定式資料」などの資料を使って説明されている
経営層の役割や責任、園の体制などはさまざまなマニュアルや手順書に明記して周知されていることに加え、内定式資料の「園運営の考え方」「各職務の役割について」なども使って開園当初の職員会議などの場で所信表明や年度の方針などがていねいに説明されている。経営層は園内外での業務の推進に加え、職員の個人面談や保護者面談も行いながらリーダーとしての役割を果たしている。園では保育力向上リーダーを中心にPDCA(計画・実行・評価・改善)に取り組んでいくことで、目指している園運営を強力に推進していく。

2	カテゴリー２
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー１（２－１）

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	６／６

評価項目１
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している　評点（〇〇〇〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	〇非該当
◉あり　〇なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	〇非該当
◉あり　〇なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	〇非該当
◉あり　〇なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	〇非該当
◉あり　〇なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	〇非該当

サブカテゴリー２（２－２）

実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	５／５

評価項目１
事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している　評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	〇非該当
◉あり　〇なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	〇非該当

評価項目２
着実な計画の実行に取り組んでいる　評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	〇非該当

カテゴリー２の講評

①　保護者の意向把握への対応が日常的に行われている
利用者の意向については、送迎時の会話や連絡帳・保護者個人面談などを通じて把握している。また、行事終了後にはアンケートを行い、利用者の希望や意向・苦情などの内容を分析している。事業所運営に対する職員意向の把握の面では、書式など日々使いながら、改善点があれば意見を聞き、園生活にスタイルにあった使いやすいものに変更している。

②　小規模保育園としてのさまざまな課題を捕らえ、計画を策定して事業運営を推進している
実践的な課題把握と計画策定のために毎年度事業報告書と事業計画書が策定されており、地域ブロック園長会や法人内園長会などの指導の下、中･長期計画が策定されている。令和元年度保育事業に関する園の事業計画として内定式資料の「園運営の考え方」を策定され、職員や保育などに反映されてきた。また、事業や行事、指導、研修などの年間

計画が作成されており、さらに短期には月案、週案が作成、運用されている。
③　地域に関することは地域会議で情報の把握や検討が行われている
地域レベルや福祉・保育全般に関する情報の把握や分析に関しては、行政の園長会や小規模保育園連絡会などから情報収集されている。行政からのメールや行政主催の会議などの情報から経営的な検討として、例えば園長自ら入園児の状況を見て人数枠の変更を検討し、変更を行っている。諸計画の推進に向けた活動としては、複数のプロジェクト活動や研修よる環境整備の事例研究の展開、安全面での詳細なデータ整理・検証などが行われている。

3

カテゴリー３

経営における社会的責任

サブカテゴリー１（３－１）

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　2／2

評価項目１
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる　　評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	〇非該当

サブカテゴリー２（３－２）

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　4／4

評価項目１
利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている　　評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	〇非該当

評価項目２
虐待に対し組織的な防振対策と対応している　　評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	〇非該当

サブカテゴリー３（３－３）

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　5／5

評価項目１
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる　　評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	〇非該当

	◉あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目２
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
◉あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー３の講評

①　法人の規程等に則った、法・規範・倫理などのしくみが整っている
守るべき法や規範・倫理などについて、法人の運営規則・個人情報保護制度・守秘義務規程・服務規程などが策定され、オリエンテーションの場で説明されている。透明性の高い組織運営のために法人の園長会や監査制度があり、福祉サービス第三者評価の結果を区のホームページで公表される。一方、コンプライアンス全般における保育者としての気づきを促す取組として、区の保育の質ガイドライン（振り返りシート）の活用や、eラーニングによる評価・反省などの検討に期待したい。
②　保護者からの意見、要望、苦情などを迅速に対応する仕組みが設けられている
利用者の意見や要望・苦情の把握の窓口の案内については、受付担当者、解決責任者を園のしおりや園の玄関に明記しており、苦情解決制度第三者委員者についても知らせている。保護者の第三者委員の認知度の調査結果として、職員アンケートでの自己評価も高く、利用者の60%の方が「知っている」と答えていた。運営委員を設置し、苦情など入れば対応できる仕組みを設けており、保護者へは重要事項説明が行われている。
③　当園は子どもが成長する上で地域との交流はとても重要なことと位置づけている
当保育園では、子どもが成長する上で地域との交流はとても重要なことと考えており、近隣の老人施設や住区センターへ訪問や、実習生の受入などを行っている。また、地域とともに子どもを育てるという考えのもと、近所の方に保育園と顔を覚えてもらうために、積極的に散歩にも取り組んでいる。今年度はコロナ禍かということもあり、なかなか計画通りに実施できていないこともあるが、当園の基本的な方針として外に遊びにいく園長の考えは保護者も評価されている。

4　カテゴリー４

リスクマネジメント

サブカテゴリー１（４－１）

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　4／5

評価項目１
事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる　評点（○○○○◉）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◉あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり ◉なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（ＢＣＰ）を策定している	○非該当
◉あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリー２（４－２）

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている　サブカテゴリー毎の　4／4

	標準項目実施状況		
	評価項目１ 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている　評点（〇〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	◉あり　〇なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	〇非該当
	◉あり　〇なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	〇非該当
	◉あり　〇なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	〇非該当
	◉あり　〇なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	〇非該当
	カテゴリー4の講評		
	①　危機管理マニュアルの整備とリスク軽減や対応に向けて事前準備に取り組んでいる 園では災害や事故への備えとして緊急時対応マニュアルに沿った訓練として、毎月の避難訓練や不審者訓練の実施が行われている。また、園内の事故防止の取組として、ベランダの物置転倒防止やジョイントユニット設置、2Fガード指詰め防止、保育室と廊下のコーナーガード取り付けがされている。そのほか、水害用の土膿の準備や防犯施錠、室内外の防犯カメラの設置など安全面の強化を図っている。水遊びの目隠し用にシェードを張り、不審者訓練ではインターフォン対応を行っている。 ②　大規模災害時の対策や訓練を行い、防災体制を強化している 大規模災害を想定した訓練やSIDS対策の見直しなど、災害時や事故への対応について対策を講じている。不審者訓練ではインターフォン対応の見直しに加えて、備蓄品は避難場所の園児と全職員の必要日数分を備蓄したりするなど、非常時への対応に関する対策を積極的に講じている。一斉配信システムを使用して家庭での防災の取組みを啓発するなども行い、保護者への防災意識向上に向けて、年1回引き取り訓練を行っている。今後は避難訓練計画に普段と被害状況の変化やリスクを重複させた訓練などを行ってみることで、訓練のレベルアップに期待したい。 ③　個人情報保護に関する利用目的および規程類を整え、職員と保護者に周知徹底している 個人情報保護規程が整備され、実習生、ボランティアの受け入れ時オリエンテーションでの説明や、承諾書にて周知徹底が図られており、保護者には重要事項説明に明記して入園説明会で説明して理解を得ている。また、各園児の個人ファイルや会議録などは、項目別に整理して情報管理し、鍵つきの書庫にて管理している。園内にパソコンを配備し、情報の伝達と共有や記録作成など、業務の効率化と、防犯カメラの設置による子どもの情報管理や機密重要情報管理が格納され、パスワード設定によるアクセス制限を掛けて情報漏洩も防止している。		
5	カテゴリー５		
	職員と組織の能力向上		
	サブカテゴリー１（５－１）		
	事業所が目指している経営・サービスを実現する 人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	10/12
	評価項目１ 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている　評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	◉あり　〇なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	〇非該当
	◉あり　〇なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	〇非該当
	評価項目２ 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している　評点（◉◉）		
	評価	標準項目	
	〇あり　◉なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりや	〇非該当

	すく周知されている	
○あり ◉なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目３
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる　評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
◉あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	○非該当
◉あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	○非該当
◉あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目４
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる　評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金、昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	○非該当
◉あり ○なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

サブカテゴリー２（５－２）

組織力の向上に取り組んでいる　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　3/3

評価項目１
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◉あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
◉あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー５の講評

①　職員資質の向上のための研修目標の設定と個人育成が行われている
職員資質の向上のための研修目標の設定と個人育成が行われている職員の個人別育成計画については、自己評価を基に園長面接や、園長および法人からの育成コメントによる支援が行われている。職員の質の向上に向けた取組として研修システムがあり、研修報告書、回覧記録に取りまとめられているが、園の進むべき方向性と整合させた研修計画書の面では、今後の検討に期待したい。特に、法人としてキャリアパスの職員にわかりやすく周知する取組や、法人のキャリアパスと園の育成方針を連動させた人材育成計画の策定の面では課題が見られた。
②　多くの研修受講の機会があり、職員の希望や育成も考慮して派遣をしている
多くの研修受講の機会があり、種類として法人グループで企画する地域貢献活動リーダー・保育力向上リーダー・本部・園長・主任の各研修があり、地域社会主催として区が開催する年齢別担任研修、発達障害保育・食育・アレルギー対応・保健衛生などのテーマ別研修、3歳児未満保育者研修など豊富にあり、職員の希望や育成も考慮して参加しやすいようにシフト調整を図っている。研修内容は職員会議で報告され、報告書を回覧し学んだことの情報共有を図っている。
④　園長は職員が主体的に自らの能力を向上するように働きかけている
園は「チームワークを大切に話し合い他者との共存の中で自身の意見を発言できる職員像」を描き、その実践を支え

	る取組みを行っている。誰か特定の人が園運営や保育を語るのではなく、職員みんなが考え、報告・連絡・相談する体制をつくることにより、組織に協働的なチームワークが芽生えている。経験の浅い職員であっても、行事などを担当して周囲の職員がフォローする仕組みとするなど、実務経験から職員が能力と働きがいを向上させる取組みを行っている。こうした活動により、職員が主体的に自らの能力を向上するように組織運営が行われている。
7	カテゴリー７
	事業所の重要課題に対する組織的な活動
	サブカテゴリー１（７－１）
	事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている
	評価項目１ 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その１）
	前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）
	キャリアアップ研修の積極参加および､そのメンバー選定をして設定目標をクリアすることを目標として掲げている。具体的な施策としては、熱中症アドバイザー研修へ参加しており、熱中症対策として室内の温度を低くしすぎないことを報告されている。キャリアアップ研修はトータル4科目の履修決定した。結果に関する振り返りとし、熱中症についてはタイムリーで子どもの命にもかかわる問題である為、意識が高い点や、研修への積極参加も意識の高さの現れという分析をしている。今後の方向性として部屋の温度管理に対するスタッフの意識が上がったと思う。日頃感じていたことかもしれず研修参加で背中を押されたのではないかと、述べられている。
	目標の設定と取り組み：◉具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
	取り組みの検証：○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ◉設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	検証結果の反映：○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ◉設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	評価項目１で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評
	園が大切にする保育の実現に向けて掲げたキャリアアップ研修の積極的な参加を位置づけている点は評価できるが、今後の方向性の目標が経営層の感想となっており、レベルアップした目標としては見る事ができにくく、わかりにくいため、スモールステップでの目標設定によるＰＤＣＡの取組に期待したい。
	評価項目２ 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その２）
	前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）
	新園の為、施設内の設備の整備を図り、安全で生活し易い施設をして行くことを計画的に課題解決に実施した。物置の購入。ベランダへジョイントユニットを敷く。保育室、廊下などへコーナーガードの取付け。防犯ロックの取付けなどを重点施策として取り組んだ。達成度として、8～9 割くらいは整備されたが現在も整備中ではある。コロナで保育が行われない休園期間（4～5 月）もあり、6 月に再開、生活する中で見えてきたことがある為。例えば避難訓練をする中で非常階段に分かり易く色を付ける。不審者対策で保育室に内鍵が欲しいなどの意見が出ているが、それぞれ工事完了済みである。
	目標の設定と取り組み：◉具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった

	取り組みの検証	○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ◉設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	検証結果の反映	○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ◉設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
	評価項目２で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
	新園の為、施設内の設備の整備を図り、安全で生活し易い施設をして行くことを計画したことと、防犯ロックの取付けなどを重点施策として取り組んだことは、利用者の安心・安全な保育を行っていくプロセスとして評価できる。達成できている状況が明確に７割と評価できている点も進捗状況としての分析が行われている。今年のコロナ禍による休園期間に見えてきた潜在的な課題について来年度までに反映させていく計画に期待できる。顕在的課題と潜在的課題を分析することで、安心・安全な保育に繋げてもらいたい。	

令和２年度

事業所名：株式会社ＭＩＲＡＴＺ　ＭＩＲＡＴＺ東和保育園》

〔サービス分析：小規模保育事業〕

Ⅱ　サービス提供のプロセス項目（カテゴリー６-１～３、６－５～６）

No	共通評価項目

1　サブカテゴリー１

サービス情報の提供　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　4 /4

評価項目１

利用希望者等に対してサービスの情報を提供している　　評点（〇〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	〇非該当
◉あり 〇なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	〇非該当
◉あり 〇なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	〇非該当
◉あり 〇なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	〇非該当

サブカテゴリー１の講評

①　利用希望者が保育園の情報を入手しやくすく、区のサイトからもリンクが行われている

利用希望者への情報提供の面では、法人のホームページに見られ、区の入園案内のもと入園後の園との関係性の構築に寄与させている。具体的には、園の理念や方針、目標、保育が具体的かつ丁寧に説明され、保育内容も明確に掲載されており、利用者は園選択の参考にできる内容としている。また、入園ガイドを郵送時施設見学、保育体験のお誘いをすることで、利用希望者が自分の子どもにとって相応しい園かどうか判断する材料にしている。会社のホームページやFaceBookでMIRATZ全園を紹介し、本園利用時の保護者の安心材料にも繋がっている。

②　　事業所の情報を関係機関等に提供し、コロナ禍による見学者対応も考えている

事業所の情報を行政や関係機関などへの提供の面では、7月に職業体験の案内を近隣の小学校や中学校へ郵送した。地域の様々な人たちの目に止まるよう、園の玄関にポスターを掲示している。また、コロナの影響で7月より一時保育、見学者等自粛とし、密を避ける意味でも外部の方の園内への立入りがないようにしている。入園を検討する上で園見学は必要と感じ、全園児帰宅後の18時30分からで良ければ見学可能にした所、実際何件もの利用があり好評を頂いている。実際に内覧できてよかったとの言葉を頂いている。10月からは、日中廊下から保育の様子を見学可能とする。

2　サブカテゴリー２

サービスの開始･終了時の対応　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　6/6

評価項目１

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている　　評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	〇非該当
◉あり 〇なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	〇非該当
◉あり 〇なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	〇非該当

評価項目２

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている　　評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	〇非該当
◉あり 〇なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	〇非該当
◉あり 〇なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	〇非該当

	サブカテゴリー２の講評
	①　基本的ルールや重要事項の説明では、保護者が求めるニーズなどの確認も行っている サービスの開始にあたり、「入園のしおり」「重要事項説明書」などをもとに、基本的ルールや重要事項等などの説明を行っている。説明の際は、保護者が求めるニーズや利用方法をその都度確認しながら丁寧に対応している。また、保育園を利用する上での同意については、「利用契約書」にサインをもらい確認している。保護者が疑問に思っていることや、不安などについて丁寧に説明して解消するよう努めている。 ②　徐々に保育時間を延ばしていく慣らし保育は、子ども一人一人に合わせて行っている 利用開始直後には、子どもの不安やストレスを軽減するために徐々に保育時間を少しずつ延ばしていく慣らし保育を実施している。保護者には、保護者の仕事の状況を確認しながら、保育中の子どもの様子を一人一人丁寧に伝え、正規の保育時間に近づけている。転園などのサービスの終了時には、保護者と連携をとりながら、転園先へ情報提供するなどの対応を行っている。

3

サブカテゴリー３

個別状況の記録と計画策定　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　12/12

評価項目１
定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、
子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している　評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	〇非該当
◉あり　〇なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	〇非該当

評価項目２
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している　評点（〇〇〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	〇非該当
◉あり　〇なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	〇非該当
◉あり　〇なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	〇非該当
◉あり　〇なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	〇非該当

評価項目３
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している　評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	〇非該当

評価項目４
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している　評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	〇非該当

サブカテゴリー３の講評

①　全体的な計画は子どもの人権尊重にも配慮した内容で立案されている

全体的な計画は保育理念や保育方針をもとに子どもの人権尊重にも配慮した内容で立案されている。指導計画は、全体的な計画をもとに年間、月案、週日案で作成され、保育日誌には毎日の子どもの様子や評価・反省が記入され、きめ細やかな保育が展開されている。個別の指導計画は、全クラスの月案に立案されており、月末に子ども一人一人に対して振り返りが行われ、翌月の計画に反映させている。

②　子ども一人一人に関する情報を職員間で共有している

保育日誌・週案へ計画を記載し、指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについては、評価・反省欄に具体的に記録している。職員間の情報共有は、登降園の連絡事項表と申し送りノートへの記入と口頭による引き継ぎを行っており、必要があればSNSを利用した連絡手段を使い迅速に情報共有できる環境が整えられている。職員自己評価からもチームワークの良さが窺える。

5

サブカテゴリー5

プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　5/5

評価項目1

子どものプライバシー保護を徹底している　　評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	〇非該当
◉あり 〇なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	〇非該当

評価項目2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している　　評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	〇非該当
◉あり 〇なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	〇非該当
◉あり 〇なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	〇非該当

サブカテゴリー5の講評

①　個人情報の取扱いに関して同意を得ており、羞恥心にも配慮をしている

個人情報の取り扱いを慎重に行うために、園の公式Facebookや制作物、写真販売サイト用の写真の掲載については、入園前面接時に保護者へ説明し、同意を得た家庭のみ掲載をしている。子どもの羞恥心に配慮した保育を行うために、オムツを替える際にはトイレ内で行うことを徹底し、他の人からみえないようにしている。また、水遊び時は洋服を着たまま行いベランダへはシェードを張り、外部から見えないように配慮している。

②　子どもの人権に関する研修に参加し、子ども一人一人を尊重する保育に努めている

子ども一人一人を尊重する保育を行うため、全園児の個別計画を立て、担当保育士が振り返りを行い、園長が確認をしている。子ども一人一人に寄り添い、自己肯定感を養うことを大切に、愛着関係を築く保育を目指している当園は、区の保育の質ガイドラインの振り返りシートなどを使って自らの言動など確認している。また、子どもの人権に関する研修にも参加し、報告書を職員間で共有し理解を深めている。園内にはカメラが設置されており、常に見られている環境を作ることで、子どもの人権の尊重や虐待防止につなげている。

6

サブカテゴリー6

事業所業務の標準化　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　5/5

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている　　評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	〇非該当
◉あり 〇なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見	〇非該当

		直しをしている	
	◉あり 〇なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	〇非該当
	評価項目 2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている　　評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	◉あり 〇なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	〇非該当
	◉あり 〇なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	〇非該当
	サブカテゴリー 6 の講評		
	①　職員用のマニュアル配布や研修、会議などで業務の一定水準を守っている 当園は、保育者業務や安全面、コンプライアンスなどカテゴリーをわけたマニュアルを作成している。保育の基本事項や手順など、サービスを一定水準に保つため、変更事項や計画などを職員会議や連絡などで全職員に周知している。また、保健衛生の手順書や職員マニュアルなどを配布して、一定水準の保育が提供している。マニュアルの見直しは子どものために行うという考え方を持つことで、自動的に園の保育自体を見直していく位置づけが望まれる。		

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー６-４）

	サブカテゴリー４		
	サービスの実施項目	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35/35

1

評価項目１

子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている　評点（〇〇〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	〇非該当
◉あり 〇なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	〇非該当
◉あり 〇なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	〇非該当
◉あり 〇なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	〇非該当
◉あり 〇なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	〇非該当

評価項目１の講評

①　子ども一人一人の全体的な姿を把握したうえで保育を行っている

子ども一人一人に寄り添った保育を展開するために保育に必要な子どもの発達の過程や生活環境などの情報を把握し、保育に活かしている。子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、保育室の玩具の設定や、食育活動などに取り組んでいる。例えば食育活動では、決して無理強いはせず、「やりたい子どうぞ～」というスタンスで構えずに行い、子どもたちの豊かな感性が育まれるよう努めている。

②　子どもの気持ちを尊重した対応をするための体制を整えている

発達の過程で生じるかみつきやひっかきなどの子ども同士のトラブルに対し、保護者にはおたよりを配布し理解を深めている。おたよりには、まだ言葉にできない乳児期の行動の様子や、園での対応方法や保護者に向けたアドバイスなどがわかりやすく記載され、保護者の不安の軽減にもつなげている。特別な配慮が必要な子どもに対しては、保護者と連携のもと、発達支援センターに相談し、巡回に来てもらい、専門家に具体的なアドバイスを受ける体制を整えている。

2

評価項目２

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている　評点（〇〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり 〇なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	〇非該当
◉あり 〇なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	〇非該当
◉あり 〇なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	〇非該当
◉あり 〇なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	〇非該当

評価項目２の講評

①　登降園時には保護者とのコミュニケーションを大切に行い、子どもの情報を共有している

登園時には、朝食の様子や、前日の睡眠状況の確認及び機嫌や体調などを保護者に直接確認している。例えば、前日に体温が高めだった子どもの場合は、帰宅後の様子、今朝の体温、食欲の有無、眠れているかなどを確認し、いつもと変わった状況等があった場合は、登降園連絡事項表に記入され、職員で共有している。降園時には、連絡帳を一人一人の保護者に直接渡し、口答でもその日の様子や体調などを伝えている。保護者とのコミュニケーションを大切に行い、子どもを安心して園に預けてもらえるような関係づくりを心がけている。

②　基本的な生活習慣の獲得、休息の長さや時間帯は子どもの状況に応じて調整している
子どもの発達の状態に応じた、トイレトレーニングや食事などの基本的な生活習慣の獲得に向け、保護者と連携をとりながら取り組んでいる。また、昼食の時間や午睡に入るタイミングについては、連絡ノートや保護者との会話、子どもの様子を見ながら保育士が調整している。リーダー会議を月に2回程度行い、各クラスの様子を伝え合い調整などを行う仕組みが整っている。

3　評価項目３
日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している　評点（〇〇〇〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	〇非該当
◉あり　〇なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	〇非該当
◉あり　〇なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	〇非該当
◉あり　〇なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	〇非該当
◉あり　〇なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	〇非該当

評価項目３の講評

①　子どもの発達に合わせて、遊びこめる時間と空間の配慮をしている
子どもの発達に合わせて、例えば引っ張る玩具や歯固め、感触遊び、ブロック、パズルなどの玩具を揃え、子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている。0～2歳児の当園は、集団性に至る前の土台作り、保育者との1対1の関係作りをまずは大切にしている。友だちとの自然な関係ができるよう、日々の保育の中で見守っている。
②　子どもの自己肯定感を培うことを大切にした保育を展開している
子どもが生活や遊びを通してルールや決まりの大切に気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるようになるには、まずは甘えを受け入れてもらう事が大切であるという考えをもとに、子ども一人一人に寄り添い、抱っこしてほしいなどの子どもの要求を保育者が受け入れることに努めている。子どもの要求をまず受入れることにより、自分は愛される存在なのだという子どもの自己肯定感を培うことを大切にして保育を展開している。
③　戸外活動は、季節の移り変わりなどを感じる大切な時間となっている
園庭がない小規模園ではあるが、積極的に近隣の公園などに散歩にでかけ、戸外遊びの機会をつくっている。職員手作りの「おさんぽマップ」には、近隣の公園などの特徴や遊具などがわかりやすく記され、子どもたちの行き先は、その時の季節が感じられるような戸外活動となるよう月案にねらいをもって行き先や活動内容が計画されている。戸外活動では、太陽を浴び、風にあたり、植物や虫等の自然に触れ、季節の移り変わりを、五感を使って感じられる大切な時間となっている。

4　評価項目４
日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している　評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	〇非該当
◉あり　〇なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	〇非該当
◉あり　〇なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	〇非該当

評価項目４の講評

①　七夕やハロウィンなど子どもたちが季節を感じられるような行事を計画している
七夕やハロウィン、クリスマスなど子どもたちが季節を感じられるような行事を計画している。小規模園ならではのアットホームさを活かし、子どもたちが楽しんで活動できるよう配慮している。食事は行事にちなんだ献立にするな

ど、子どもたちが興味や関心をもって行事が実施できるよう努めている。
②　行事中の子どもたちの楽しんでいる様子を園の公式Facebookなどで発信している
行事中の子どもたちの楽しんでいる様子は、園の公式Facebookや掲示物などで保護者へ伝え、理解が得られるよう努めている。0～2歳の子育てが大変な時期であるため、保護者の負担軽減の対策も検討している。七夕会の日は短冊の付いた笹を持ち帰ってもらい、家庭でも日本古来より伝わる行事を楽しんでもらえるよう取り組んでいる。今年度開園した園のため、ねらいをもった行事の取組に期待したい。

5

評価項目 5
保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている　評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	〇非該当

評価項目 5 の講評

①　ゆったりとした環境の中で保育を展開し、保育時間の長い子どもが安心して過ごしている
小規模で0～2歳児の当園は、ゆったりとした環境の中で保育を展開しており、延長保育の時間になると子どもたちも特別な時間として、集団とは違う遊びをしたり、保育者とコロコロローラーでお掃除を楽しんだり子ども一人一人に寄り添い、保育時間の長い子どもが安心してくつろげる環境になるよう配慮をしている。
②　子どもの気持ちが落ち着いた状態で保護者のお迎えが待てる環境作りに努めている
保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でもゆったりとした雰囲気の中で子どもと保育士が1対1で遊んだり、子どもの興味・関心のある遊びや要求を満たすような環境が保たれている。また、お迎えの時間が近づくと、「もう少しだね」などと声をかけ、子どもが寂しく感じたりしないよう配慮し、気持ちが落ち着いた状態で保護者のお迎えが待てる環境作りに努めている。

6

評価項目 6
子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している　評点（〇〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	〇非該当
◉あり　〇なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	〇非該当
◉あり　〇なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	〇非該当
◉あり　〇なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	〇非該当

評価項目 6 の講評

①　子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような環境設定やメニューの工夫をしている
子どもが安定した体制で食事ができるように乳児用ベビーチェアを使用し、落ち着いた雰囲気作りをして食事に集中できるような環境を整えている。味付けはだしをきかせた薄味で、季節の旬の食材を使った献立、サイクルメニューで飽きが来ない工夫をしている。誕生日の日には誕生会を行い、誕生日の子どもの好きなメニューを保護者からリサーチしてその中から園で提供できるメニューを決め、楽しく食事ができるように工夫している。
②　安全な食事の提供や食育活動を行っている
毎月の食材チェック表を保護者に配布し、家庭で2回以上食べて問題がなかった食材の確認をしている。事前に、小麦・卵などのアレルギーがわかっている子どもに対しては、アレルギー用の献立を配布し除去食の提供を行っている。食についての関心を深めるために、月案には食育の活動内容が立案されている。例えば、調理前の野菜を子どもたちに紹介したり、じゃがいも洗いやとうもろこしの皮むきなど、実際の野菜に触れる食育活動を行っている。

7

評価項目 7
子どもが心身の健康を維持できるよう援助している　評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	〇非該当
◉あり　〇なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群	〇非該当

		の予防を含む）を行っている	

評価項目７の講評

①　子どもの病気やけがを予防・防止できるように安全対策に力を注いでいる
小規模で0～2歳児までの当園では、まずは保育士がけがなどを防ぐ環境、体制を作ることが大切と考え環境設定を行っている。子どもたちの保育環境を子ども目線で確認し職員会議でも検討を重ね、コーナーガードや保育柵、防犯ロック、ドアの指詰め防止などの設置を行い、安全対策に力を注いでいる。保護者とは、毎日の連絡ノートや直接のやり取りで子どもの健康状態の把握を行い、睡眠時は、乳幼児突然死症候群の予防のため、睡眠時チェック表をもとにブレスチェックを欠かさず行っている。
②　医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携にもとづく対応をしている
園では、毎月園医による健康診断を行っている。連携する園医との関係を築き、健診時には日頃の疑問点などをきいたり、アドバイスなどをもらったりしている。アレルギーのある子どもに対しては、生活管理指導表の提出と面談を必ず行い、主治医、保護者と連携して対応している。また、必要に応じて塗薬の塗布、アレルギー対策の薬を預かるなど保護者との密接な連絡、書類の提出によるやり取りなどの対策を行っている。

8　評価項目８
保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている　評点（〇〇〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	〇非該当
◉あり　〇なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	〇非該当
◉あり　〇なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	〇非該当
◉あり　〇なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	〇非該当

評価項目８の講評

①　保護者同士の交流の機会として、お散歩デーを計画している
園では、保護者同士の交流も園生活を充実したものにする上で重要と考えている。保護者も参加できる行事としてお散歩デーを計画している。実施に向けては感染症の状況を確認しながら行うこととなっている。新しい生活様式に伴った保護者同士が交流できる取組の検討に期待したい。
②　子どもに関する相互理解や共通認識を得るよう努めている
子どもの発達や育児のあり方などについて保護者と共通の認識をもつため、園だよりの配布によるマメ知識の提供や子どもの成長の過程で起こりうるかみつきや引っかきについて、トイレトレーニングについてなどを保護者に分かりやすくまとめ情報発信をしている。また、登降園時の保護者との会話を大切にし、さまざまな情報を提供して、子どもの発達や育児についての理解を深めている。

9　評価項目９
地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている　評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	〇非該当

評価項目９の講評

①　近隣の老人施設へ園児の制作物を届け、交流を行っている
園は、子どもが成長する上で地域との交流はとても重要なことと捉え、近所の方に保育園と顔を覚えてもらい、地域とともに子どもを育てるという考え方をもとに、近隣の老人施設との交流や住区センターへ行くことを計画している。老人施設へは園児の制作物を届けて園の存在を知ってもらい、今後はビデオレターなどを制作し届ける予定となっている。子どもたちが地域資源を活用し、多様な体験や交流ができるような、より一層の取組に期待したい。
②　積極的にお散歩を行い、子どもが職員以外の人と交流できる機会を作っている
園の行事に近隣住民の参加を呼び掛け、交流を行うことで、子どもの成長につながるだけでなく、災害対策としても地域とのつながりは欠かせないと考えている。お散歩の時には近隣住民と挨拶を交わし、交流を深めている。近隣の

	大学には、園で一緒に遊びましょうと保育体験の案内チラシを配布し、子どもが職員以外の人と交流できる機会を作っている。地域の園として積極的に情報を発信し、感染予防対策をしている中での地域交流の取組の検討に期待したい。

令和２年度

事業所名：株式会社ＭＩＲＡＴＺ　ＭＩＲＡＴＺ東和保育園》

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	５－１－４	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル①	園内の各部門で職員主体の自主活動が行われ、取組の成果は法人本部で取りまとめている	
内容①	保育力の向上リーダーが園内研修の中で、4部門に分かれて「クリエーター部、クラフトデザイン部、フィジカル部、リズムパフォーマンス部」など、それぞれの課題をテーマごとに学び合っている。この研修の中から、職員の自主研究が行われており、手作りおもちゃや保育教材など、職員が関心の高いテーマに自主的に取り組み、自己が発揮できる環境作りや、職員の意識改革への意欲を強めている。本年度から毎年発表することになったため、さらに各園の意識を高めている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目		
タイトル②		
内容②		

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの誕生日には事前に保護者からリサーチした「お誕生日リクエスト献立」でお祝いをしている
	内容	月の指導計画には食育についての活動内容や保育者の働きかけと環境設定、評価・反省が記載されており、生きる基本となる食事について大切に捉え、無理をせず乳児から取り組める食育活動を行っている。お誕生日の前には、保護者に「お誕生日リクエスト献立について」を配布し、子どもの好みなどをリサーチしている。その情報をもとに、栄養士による献立が作成され、誕生日会に花を添えている。子どもたちは自分が大切にされている気持ちになり、園の大切にしている自己肯定感を培うことにもつながっている。
2	タイトル	小規模園であることを強みとし、子ども一人一人にサービスが行き届く保育を展開している
	内容	今年度開園した当園は、実際利用している子どもの人数に対して保育者の人数が多く配置されており、手厚い体制で保育が展開されている。保護者とのコミュニケーションを大切に行い、園の方針である「安全な環境の中で一人一人の育ちに寄り添い豊かな愛情を持って応答的に接する」に向けきめ細やかな指導計画を立案し、全職員が子どもたち全員を把握している状態をつくり保育を行っている。利用者調査では100％の保護者が「大変満足」「満足」と回答しており、高い評価を受けている。
3	タイトル	積極的に戸外遊びの機会をつくり、保護者へ発信するために職員手作りの「おさんぽマップ」を掲示している
	内容	小規模園の当園は、園庭がない中で、積極的に園外へ出かけ、戸外遊びの機会をつくっている。公園では虫の鳴き声をきいたり、葉が色づいているのを見たり、子どもたちが五感を使って季節を感じられる活動を行っている。普段の散歩の行き先については、公園の特徴や遊具などが写真で紹介された職員手作りの「おさんぽマップ」を園内に掲示し、保護者へ伝えている。近隣の池のある公園にカモをみに行ったり、子どもたちの興味や関心を広げ、様々な経験を通して豊かな感性を育んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	子どもに対する事故予防だけではなく、リスクマネジメントという視点で取組ことに期待したい
	内容	園内でのリスクについては大規模な地震を優先順位の高いリスクとして訓練等において準備を行っている。また、事故予防として、ヒヤリハットの提出や事故報告書の作成、再発防止策についての検証が行われている。一方、ヒヤリハットはあまりあがっていない状況にあります。様々な要因があることを想定して「子どもに対する事故予防」だけではなく、リスクマネジメントという視点で、検証できるように業継続計画の策定に取り組むことが期待される。
2	タイトル	キャリアパスを資格と経験年数で明確にし、表と文書で明示してほしい

	内容	職員が、ある職務に就くまでに辿ることとなる経験や順序の流れがわかるようなキャリアパスが策定については課題となった。職員は将来自分が目指す職務を踏まえる上でどのような形で経験を積んでいくかという順序・計画をわかりやすく示すことで、職員の職務から得られる経験以外に自己啓発等により得られるスキルも含まれることを知る機会となり、またゴールが明確なため進捗感を感じられやすくモチベーション・やりがいが高まる優れた形式となるので、導入に向けた検討に期待したい。
3	タイトル	今後の一層の充実に向けた取組として、先を見据えた職員の個人別研修計画や園の新たな目標の設定などの検討に期待したい
	内容	職員に対しては、個人目標を前提とした定期的な面談のほか、日ごろのきめ細やかなコミュニケーションが図られ、個々をよく理解したうえでの仕事の割り振りやさらなる向上を目指してのアドバイスなどが行われている。また、他施設の見学や研修報告を通して互いの士気を高め、園全体での円滑な運営につなげている。今後の一層の充実に向けた取組として、育成の視点においた個人別研修計画の策定や園全体のレベルアップを図るための新たな目標の検討などにも期待したい。